




Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2014

日本文学（近代文学）史講義

第4回 ロマンの原型、屋ドラマの原型 — 文学界と硯友社

Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

1

ロマン派

ドイツロマン派



ロマン主義の底流に流れているものは、内面性の重視、感情の尊重、想像性の開放といった特性であり、好まれる主題としては、「異国的なもの」「未知のもの」「隠れたもの」「はるかなるもの」

(特に、自分たちの文化の精神的な故郷、古代文化)
「神秘的なもの (言葉で語れないもの)」「夢と現実の混交」、更には、「憂鬱」「不安」「動揺」「苦悩」「自然愛」などを挙げる事ができる。

Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

2

「文学界」グループ

『文学界』の名を冠した雑誌は最初に1890年代に北村透谷、島崎藤村たちが拠った雑誌として発刊され、この雑誌は明治浪漫主義文学の拠点であった。この雑誌は現在のものとは直接関係ない。

前身雑誌は、『女学雑誌』 女性の総合雑誌

中心人物は 北村透谷 島崎藤村

Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

3

北村透谷

北村 透谷 (きたむらとこうこく、1868年12月25日 (明治元年11月16日) - 1894年 (明治27年) 5月16日) は、明治期に近代的な文芸評論をおこなった人物。詩人、島崎藤村らに大きな影響を与えた。

- ① 民権運動の推折 (反政治主義)
- ② キリスト教記者 (西洋的恋愛観)
- ③ ロマン主義のリーダー (リアリズムからの逸脱)
- ④ 「文学界」のリーダー
- ⑤ 詩・戯曲 「櫻痴の詩」 (自伝的) 「蓮花曲」

海外から輸入された形式 → 国産オリジナルの試み

評論 「文学界と女性」「内部生命論」 恋愛の意義を論議

「人生に絶望とは何の謂ぞ」 (山崎愛山と論争) 文学の必要を説く文章

- ⑥ 自殺 → 殉教者 として讃揚 (一冊村「春」 「桜の果の熟するとき」へ)


まあ、基本びびりですよ

Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

4

島崎藤村

1889年島崎 藤村 (しまざきとうそん、1872年3月25日 (明治5年2月17日) - 1943年8月22日) は、日本の詩人、小説家、本名、春樹 (はるき)。信州木曾の馬籠 (現在の岐阜県中津川市) 生れ。

「文学界」に参加し、浪漫派詩人として『若菜集』などを刊行。さらに小説に転じ、『破戒』『春』などで代表的な自然主義作家となった。ほかの作品に、日本自然主義文学の開拓点とされる『家』、短の近親縁を告白した『新生』、父をモデルとした歴史小説『夜明け前』など。



透谷先輩の意志を継ぎます

Dr. ヒッキー日本文化研究所 http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

5

日本の近代詩の夜明け

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2014

①、「新体詩抄」(1882明治15年)

井上哲次郎・矢野龍渓・外山正一
字者の作った詩集→文学性の欠如

ぼろぼろ
言われました

海外の詩って
駄目じゃん！

②、「於母影」(1889(明治22)年)

森田外・高倉直文・小倉井秀英などの訳
高い文学性

いや、そりや
誤解だって

あとは、
日本人による
傑作を待ちましょ
う

③、「楚囚之詩」(1889(明治22)年)

時期尚早の意識→自主討死へ

④、「若菜集」(1897(明治30)年)

近代詩の夜明け！

私が咄しますよ！

やっぱ
とりけし！

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

6

『楚囚之詩』のとまどい

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2014

余は遂に一詩を作り上げました。大胆にも是れを書肆の手に渡し知り及び文学に志ある江湖の諸兄に頼たんとまでは決心しましたが、実の如く躊躇しました。

俺はついに一つの「詩」をつくったよ。大胆にもこれを

出版社に人頼して、みんなに見て貰おうとおもったけ

ど、結構通ったね。

余は実に多年間の短き道を歩んこと心に心を寄せて居ました。が然し、如何にも非常の改革、至大難題の事業なれば今日までは黙達して居たのです。

俺は、ずいぶん長い間、こういうのを作ろうとおもっていたよ。

でも、それは非常な大改革で、舌鞭の通達だから、今日まで

黙って置かにすごしていたのさ。

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

7

『楚囚之詩』のとまどい

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2014

幸にして余は尚ほ年少の身なれば、斯く此「楚囚之詩」が諸君の嘲笑を買ひ、諸君の心頭を痛くする事あらんとも、尚余は愈々日見れが罪を償ひ得る事ある可しと慰みます。

まだ俺は少年だからさ、この詩が嘲笑に買われても

いつか、みんながわかってくれる日がくるさ。

元より余は民間語の所謂歌でも詩でもありません。寧ろ小説に似て居るのです。左に、是れでも詩です。余は此詩にして余の詩を作り始めます。

もとよりこれは、伝統的な詩歌ではないよ、むしろ小説

っぽいかな。でも、これでも詩なんだ。俺はこうして

俺のスタイルの詩を作るんだ。

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

8

『楚囚之詩』はこんな 感じで始まる

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2014

第一

曾って讀つてはを褒め

政治の罪人として捕はれたり、

余と生死を誓ひし壮士等の

数多あらうちに余は其前線なり、

中に、余が最愛の

まだ雪の花なる少女も、

國の爲とて諸共に

この花開も花散も、



第二

余が髪は利時の鬚にか伸びていと反し

齒齧を喰ひ眼を凝りていと重し、

肉は落ち骨出で胸は常に枯れ、

沈み、萎れ、縮み、あゝ物憂し、

歳月を重ねし故にあらず、

又た疾病に苦む為ならず、

道鳥が啼鳴の其れにも

はて慰付かふもあらず、

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

9

で、こんな感じで おわる…

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2014

第十六

俺は余を捨て、去り

余は髪に物憂に染みたり、

俺は髪に如何なるやうに

縮かに、縮は今は花なり！

斯く余が髪に中央に

欠し髪にて諸君は入り来たり、

遂に余は散されて、

大衆の大衆を感嘆せり

門を出れば、多くの朋友、

抱ひ、余を抱へ来たり、

中にも余が最愛の花は、

走り来りて余の手を握りたり、

腕れが腕にも余が腕にも同じ眼—

又た多数の朋友は吾人で抱擁せり、

先きの可愛き事も思ひ来りて

再び美夢の夢を、夢に開かせたり、

ご都合主義のエンディング
思想的深さの欠如

政治的行為に対する
内的恋愛の勝利？

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

10

透谷の仕事

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2011

日本に最初のロマン主義グループを成立させた

恋愛至上主義を主張した

文学の功利性を否定した

島崎藤村の文学的基礎の形成に影響した

(参考) 自然主義の人々は意外に元ロマン主義者

※ロマン主義の青春→リアリズムの大人へ

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

11

『若菜集』の代表作 「初恋」

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2011

「初恋」 島崎藤村

まだあけぬめし顔のわがこころなきためいきの

静寂のうちに思ふとき 静寂のうちに思ふとき

涙にさしたる花の影の 涙にさしたる花の影を

花をみる君と静けけ 花をみる君と静けけ

やさしく白き手をのべて

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき

静寂のうちに思ふとき



Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

12

硯友社

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2011

1885年(明治18年)2月、東京大学予備門(後の旧制第一高等学校)の学生だった尾崎紅葉、山田美紗、石橋思案、丸山九華が文学同好会「文友会」「凸々会」をつくった。これが発展し、永遠に友でいるという意味で硯友社と称した。同年5月、日本初の純文学雑誌である『我楽多文庫』を創刊。初めは筆写本による回覧雑誌とし、8冊を刊行。ついで、活版非売本として、8冊を刊行。さらに公刊本を16冊と刊行し、ひきつづき『文庫』と改名し、11冊を刊行する。この間に大きな反響を呼び、川上眉山、巖谷小波、江見水蔭、挿絵の武内桂舟らが参加。

だが公刊本時代に美紗が社に無断で『都の花』で主に筆をとるようになったため、硯友社から離脱。一時打撃を受けたが、紅葉『二人比丘尼 色懺悔』等で吹き返し、さらに広津柳浪、泉鏡花、小栗風葉など、紅葉に弟子入りするものが増え、最盛期を迎えた。一方、美紗や小波は言文一致体の小説を載せるなど、近代文体の確立にも貢献。その後は、紅葉の死とともに解体した。

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

13

硯友社の特徴と推移

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2011

①、先輩たちの文学改良主義への反発から

復古的な側面、古典回帰の方向性を持った

(積極的復古主義)

②、功利主義への反発から

「文学は娯楽」と主張(役にたたくていい)

(運動性)

③、坪内逍遙の「写実主義」の影響

心理描写のリアリズムを追求

④、知識人の職業としての文学者

⑤、眉山、鏡花らによる観念小説、悲劇小説へとつながっていった。

過渡期的
性格

恋愛を語る物語を多く生産

男性と女性のそれぞれの型を生み出す

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

14

尾崎紅葉

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2011

尾崎 紅葉 (おぎさ こうよう、慶応3年12月16日

(1868年1月10日) - 明治36年(1903年)10月

30日) は、日本の小説家。本名、徳太郎。「緑

山」「半可通人」「十千万堂」などの号も持つ。

江戸生れ。帝国大学国文科中退。



明治18年(1885年)、山田美紗らと硯友社を設立し『我楽多文庫』を発刊。『二人比丘尼 色懺悔』で認められ、『伽羅枕』『多情多恨』などを書き、幸田露伴と並称され明治期の文壇の重きをなした。明治30年(1897年)から『金色夜叉』を書いたが、未完のまま没した。泉鏡花、小栗風葉、柳川春葉、徳田秋声など、優れた門下生がいる。

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

15

紅葉にライバル出現

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2011

幸田 露伴 (こうだ ろはん、慶応3年7月23日
(1867年8月20日) - 昭和22年 (1947年) 7月
30日) は、日本の小説家。本名、成行) 別号
には、蝸牛庵 (かぎゅうあん)、恆のつゆ、
雪音洞主、脱天子など多数。



『風流仏』で評価され、『五重塔』『運命』などの作品で文壇での地位を確立。尾崎紅葉
とともに紅葉時代と呼ばれる時代を築いた。擬古典主義の代表的作家で、また古典や諸宗
教にも通じ、多くの随筆や史伝のほか、『芭蕉七部集評釈』などの古典研究などを残した。

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

16

紅露時代 (紅露追鵬時代)

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2011

道徳のリアリズム

鵬の浪漫主義 (ロマン主義)



Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

17

紅露時代 (二人の作風)

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2011

「五重塔」(男の職人気質の描写を得意とする)

鵬はあるのだが堅固な性格から「のっそり」と渾名される大工の十兵衛。ある時、谷中感応寺に五重塔が建
立されることになり、その仕事で用達の親太が掛け貸うという話を聞く。十兵衛は日頃から親太の世話になっ
ていたのだが、どうしても自分で五重塔を作りたという思いに駆られ、御門上人に直談判に行く。上人は
十兵衛の熱意を買い、十兵衛・親太兩人を共に呼び、どちらが仕事をするか話し合ってもらえるように言う。
親太は、十兵衛の平素の態度を根拠に、一緒に作ろうと提案する。十兵衛の女房お直は親太を流して親太に感謝す
るが、十兵衛は無愛想にその提案を断る。十兵衛には、自分が作るか、作らないか、どちらかしかないの
であった。

「金色夜叉」(若者の恋愛の心理描写を得意とする)

一高の学生の間貫一 (はざまかんいち) の音階 (いいなげ) であるお宮 (おがみや、しぎさわみや) は、結
婚を間近にして、目の金に目が眩んだ親によって、無理やり富家の富山唯蔵のところに嫁がされる。それ
に激怒した貫一は、熱海で宮を問い詰めるが、宮は本心を明かさず、貫一は宮を振り回し、復讐のため
に、高利貸しになる。一方、お宮も幸せに暮らせずにいた。やがて、貫一は金を捨て、お宮と再会する

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

18

日本人は『金色夜叉』 が意外と大好き

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2011

テレビドラマ版

モデルの事件 文芸評論家北嶋廣敏によれば、主人公・間貫一の

モデルは明治文学者の豊谷孝次である。彼には芝の高級料亭で働

いていた須磨という恋人がいた。が、小波が京都の新聞社に2年間

勤務している間に、博文館の大橋幸次郎(高山唯蔵のモデル)に横取り

されてしまった。小波は別に結婚する気もなかったのだからして気

にも留めていなかったというが、友人の紅葉が怒って料亭にのりこ

須磨を足蹴にした。熱海の海岸のシーンはそれがヒントになったという。



1983年『テレビドラマ版 金色夜叉』 - 放送：TBS系列 /

2000年7月編纂された北里大学講義録で、ミネソタ大学の図書館に所蔵されて44巻ボース・

石版紙、お宮：黒田あやみ、

M・クレイ (Bertha M. Clay) 『WEAKER THAN A WOMAN (女より弱きもの)』が

基本であることを説明した。

その巻頭語：同窓会、内閣閣員、小島三郎、松本

みは、金色夜叉

1986年『金色夜叉』 - 放送：フジテレビ系列/第一・第二回、お

宮：高田あやみ、

Dr. ヒッキー日本文化研究所

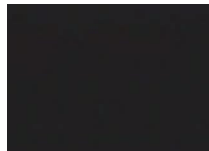
http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

19

『金色夜叉』 名台詞

Dr. ヒッキー
日本文化研究所
2011

「ああ、宮さんかうして二人が一緒に居るのも今夜
かぎりだ。お前が僕の介抱をしてくれるのも今夜
ぎり、僕がお前を苦しめるのも今夜ぎりだ。一月の
十七日、宮さん、早く寝ておきな。来年の今夜今夜は、
貫一は何処でこの月を見るのか! 再来年の今夜今夜……
十年後の今夜今夜……一生を通して僕は今夜今夜を忘れる、
忘れるのか、死んでも忘れるよ!



可い、宮さん、一月の十七日だ。来年の今夜今夜に

なったならば、僕の涙で必ず月は曇

らして見せるから、月が……月が……月が……曇ったば、

宮さんは何処かでお前を恨んで、今夜のやうに泣いてあると思ってくれ」

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

20

『文学界』への寄稿者、
樋口 一葉

樋口 一葉（ひぐち いちよう、1872年5月2日（明治5年3月25日） - 1896年（明治29年）11月23日）は、日本の小説家。東京生れ。

中島歌子に歌、古典を学び、半井桃水に小説を学ぶ。生活に苦しみながら、「たけくらべ」「十三夜」「にぎりえ」といった秀作を発表、文壇から絶賛される。

わずか1年半でこれらの作品を送ったが、

25歳（数え年、以下同様）で肺結核により死去。

『一葉日記』も高い評価を受けている。



Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

樋口一葉

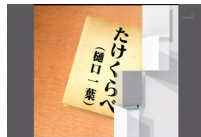
作風 花柳もの 特に花柳界の女の子を描く

(例)『たけくらべ』1895年(明治28年)から翌年まで「文学界」に断続的に連載

静気な少女美登利はゆくゆくは遊女になる運命をもつ少女である。対して麗華寺僧侶の息子信知は、俗物的な父を脱ぎ内面的な少年である。美登利と信知は同じ学校に通っているが、あることがきっかけでお互い話し掛けられなくなってしまう。

当時吉原の遊郭は、鷹の頭の子長吉を中心とした集團と、金貨しの子正太郎を中心とした集團に分かれ対立していた。夏祭りの日、長吉ら横町組の集團は、横町に住みながら表町組に入っている三五郎を正太郎の代わりに暴行する。美登利はこれに怒るが、長吉に罵倒され屈辱を受ける。

ある日、信知が美登利の家の前を通りかかったとき下駄の鼻緒を切ってしまう。美登利は信知と気づかず近付くが、これに気づくと、恥じらいながらも溜切れを信知に向かって投げる。だが信知はこれを受け取らず去っていく。美登利は悲しむが、やがて信知が辯侶の学校に入ることを聞く。その後美登利は寂しい毎日を送るが、ある朝水仙が家の意に差し込まれているのを見て憤かしと思う。この日信知は辯侶の学校に入った。



遊郭システムの子供
奴隷・娼婦の再生産
↑
見つめる大人の視線

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

日本人は『たけくらべ』
も意外と大好き

1924年：映画『たけくらべ』（日話）- 監督：三枝源次郎、出演：木暮茂、徳川良子、嵯峨浩ほか

1955年：映画『たけくらべ』（新東宝） - 監督：五所平之助、出演：美空ひばり（美登利）、岸恵子（大巻）ほか

1973年：テレビドラマ『たけくらべ』（TBS）出演：中野良子、あおい輝彦ほか

1974年：テレビドラマ『たけくらべ』（NET） - 出演：由美かおる、藤岡文彦、三宅邦子、殿山泰司、佐々木剛ほか

1976年11月7日：人形劇（単発）『たけくらべ』（NHK）声の出演：十朱幸代（3
登利）、坂東玉三郎（信知）、坂井美奈子（大養）、市川右近（正太郎）ほか

1986年：テレビアニメ『たけくらべ』青春アニメ全集（日本テレビ） - 声の出演：山本百合子、語り手：木内みどり

舞台化宝塚歌劇団によってもミュージカル化。



Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/

まとめ

文学界

ロマン主義の原型

島崎藤村の対象 α 的存在

親友社

過渡期的性格をもった文芸集団

長大メロドラマ的原型

夢追い系根性ドラマの原型

— 策 —

男性中心主義の文学史のいわけ的存在 (ホモソーシャル的構造)

文学史の中の女性作家の原型（特異な自分を悲劇的に描く）

Dr. ヒッキー日本文化研究所

http://homepage3.nifty.com/hikita_masaaki/